鹿児島工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	比較文化論B

科目基礎情報

科目番号	0099	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	情報工学科	対象学年	5
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	プリントで配布（資料やタスクシートのファイリングが必要）、読書案内等は随時授業中に行なう		
担当教員	保坂 直之		

到達目標

1．他者への関心を持ちオープンである
2．他者の信念や行動に対して直ちに判断を下さず、好奇心をもって理解しょうとする
3．他者の視点から物事を分析・理解しようとする
4．自らの所属集団・他者の所属集団の文化背景の知識がある
5．文化背景が及ぼす影響について十分な知識がある
6．異文化理解に必要な態度・知識を踏まえて意見を語り行動することができる

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目A：態度1	他者への関心をもちオープンである	他者への関心を持ちープンであろうとする	他者への関心がなくオープンではない
評価項目A：態度2	他者の信念や行動に対して直ちに判断を下さず、好奇心をもって理解しようとする	他者の信念や行動に対して直ちに判断を下さない	他者の信念や行動を誤解して判断しがちである
評価項目A：態度3	他者の視点から物事を分析・理解しようとする	他者の視点を理解しようとする	他者の視点がつかみきれない
評価項目B：知識1	自らの所属集団・他者の所属集団の文化背景の知識がある	自らの所属集団・他者の所属集団の文化背景の知識がある程度ある	自らの所属集団・他者の所属集団の文化背景の知識が不足している
評価項目B：知識2	文化背景が及ぼす影響について知識がある	文化背景が及ぼす影響について知識がある程度ある	文化背景が及ぼす影響について知識が不足している
評価項目：発言・行動	A(態度)、B(知識)を踏まえて意見を語り行動することができる	A(態度)、B(知識)を踏まえて意見を語り行動することがある程度できる	自分の意見が語れない、行動できない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	日本と主に欧州の文化を比較しながら、異文化を理解するための方法・他者に自国文化を理解してもらう感覚を養う。特に他者と分かり合えるための態度と知識に焦点をあてて、自国のことについても十分に説明する練習をしたい。「文化背景」を掴む資料として映画作品を使い、タスクシートを埋めてディスカッションをしていく。取り上げる作品の主題に沿って、以下のキーワードの中のいくつかがディスカッションでのライトモチーフになる：ステレオタイプ、Wende（壁の崩壊・時代の激変）、グローバリズム、デモクラシー、sozial（社会的公正または公共性）、表現の自由、家族、性、LGBT、同調圧力など。
授業の進め方・方法	授業中の発言回数・内容、他の議論の進め方などをもとに成績評価する。発言の少ない人などはこちらから語れるよう促しながら、他の受講者と自由に話し合える時間を作りたい。さまざまなアクティビティによって緊張せずに行動するスキルも身につけてほしい。
注意点	読書などの自習も重要で、240分／1Wの自学自習が必要である。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	はじめに：エビデンス・反エビデンス	科学的実証の大切さを理解できる
		2週	ステレオタイプ	相手のステレオタイプを見抜きながら自分の意見を適切に言える
		3週	GOOD BYE LENIN (1)	Wende（壁崩壊）から今に至る欧州の歴史・文化背景を知る
		4週	GOOD BYE LENIN (2)	Wende（壁崩壊）から今に至る欧州の歴史・文化背景を理解する
		5週	GOOD BYE LENIN (3)	Wende（壁崩壊）から今に至る欧州の歴史・文化背景の知識を踏まえて意見が言える
		6週	ステレオタイプとハイコンテクスト	ステレオタイプ・ハイコンテクストなどの基本知識をもとに正しく行動できる
		7週	DAS LEBEN DER ANDEREN (1)	Diktatur（独裁政治・独裁国家）の実態を知る
		8週	DAS LEBEN DER ANDEREN (2)	Diktatur（独裁政治・独裁国家）歴史・文化背景を理解する
	4thQ	9週	DAS LEBEN DER ANDEREN (3)	Diktatur（独裁政治・独裁国家）について歴史・文化背景を踏まえて意見が言える
		10週	表情・アイコンタクト・タッチング・距離	身体にしみついた文化背景を自覚しながら、自由に行動できる
		11週	空気人形(1)	現代日本人のメンタリティを支える文化背景を知る
		12週	空気人形 (2)	現代日本人のメンタリティを支える文化背景を理解する
		13週	空気人形 (3)	日本の「今」を説明できる
		14週	議論	第13週までの内容を踏まえて他者の意見を理解し、自分の意見を言うことができる

		15週	まとめ	タスクシートを整理して第13週までの項目の達成度を確認する
		16週		

評価割合

	試験	発言	タスクシート	授業態度	合計
総合評価割合	75	10	15	0	100
基礎的能力	40	5	10	0	55
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	35	5	5	0	45